

令和元年度 活動報告

砂川市地域おこし協力隊（農作業支援）

村田 大地



砂川市長から委嘱され砂川市
地域おこし協力隊（農作業支
援）に就任

・1年間の活動を経て水稻農家を目指したいこと、
それに伴い今年は、水稻に関する専門的な知識、
技術を身に着ける等の活動計画を2年目の抱負とと
もに経済部長に報告しました。



ロータリーによる耕運作業



振動ローラによる転圧作業

4月度はハウス内の 種まき準備

- ハウスの内を種まきができるようにロータリーで耕運し、平になるように振動ローラで転圧し、レール・防着ネットを敷設しました。

- この作業では水が溜まらないよう極力平らに転圧することが重要なポイントとなります。



種まき準備完了



種まき作業



種まき完了ポット



敷設作業



敷設完了後2週間

5月度初旬は種まき作業、敷設作業

- 種まき作業は自動種まき機を使用して行い、まき終えたポットから順番にハウスへ敷設していきます。
- 敷設作業は半自動の敷設機を使用するが、ハウス内はとても高温になるので過酷な作業でした。
- 敷設完了後2週間程度で発芽し、芽が揃い始めます。



ブロードキャスターによる
肥料散布作業



ロータリーによる
ほ場起こし作業

5月度中旬は水田の 肥料散布作業、 ほ場起こし作業

- 苗の移植作業に向けて肥料の散布・ほ場起こしの作業を行いました。
- 肥料の散布作業はトラクターにブロードキャスターを装着し、ムラが出来ないように注意し、まんべんなく散布します。
- 田んぼ起こし作業はトラクターにロータリーを装着し、起こし残しが無いように起こします。



しろかき作業前



しろかき作業



しろかき作業完了

5月下旬は田植えに向けしろかき作業

- ほ場に水を張り鉄車輪としろかきロータリーを装着し、しろかき作業をしました。
- しろかき作業はほ場の表面を平らにする作業で、仕上がりの良し悪しが稲の生育に影響する大事な作業で、技術も水稻に関する作業の中で最も難しいと言われている作業です。



苗積み込み作業



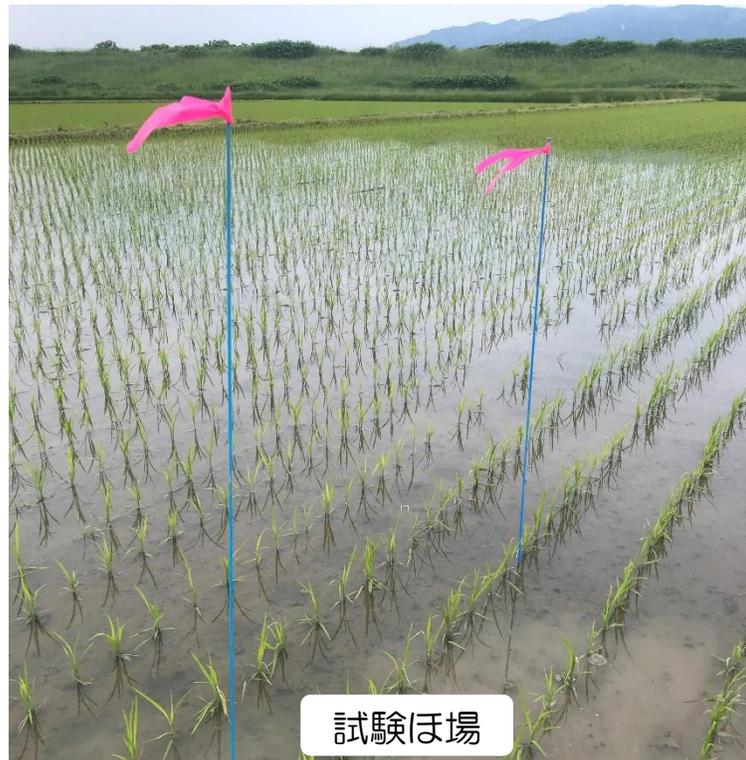
苗積み込み完了



移植作業

5月下旬から6月上旬 にかけて田植え作業

- 田植え作業は、育苗ハウスから軽トラックに苗を積み込みほ場まで運び移植します。
- 田植え作業で最も注意しなければならない点は、まっすぐに移植する事です。去年は曲がって移植してしまいましたが、今年はまっすぐに移植する事ができました。



6月度は農業大学校で 課題作成

- 農業大学校にて農業研修を受講し、そこで今年度の研究課題を設定しその課題内容について発表しました。
- 「元肥が稲に与える効果について」という課題を設定し、帰省後試験ほ場を作成し、普及センターの方々に協力をしいていただき研究に励みました。



YUMEYASAI



札幌市中央卸売市場



北日本スカイテック

空知青年農業者夏期 研修会に参加

- 本研修会では、YUMEYASAI、札幌市中央卸売市場、北日本スカイテックの3か所の視察先で研修を行いました。
- YUMEYASAIでは、石狩市で馬鈴薯、長芋、ゴボウなどの根野菜をメインに作っている畑作農家の只野夢子さんの農場を一周しながらSNSを利用したブランドのPR方法などを学びました。
- 札幌市中央卸売市場では、市場場内を一周しながら「セリ」など様々な取引方法があることや、札幌市中央卸売市場が道内の拠点市場として札幌圏約230万人の食を支えるとともに、北海道という大きな生産地の市場として全国各地に生鮮食品を供給する重要な役割を担っていることを学びました。
- 北日本スカイテックでは、主に「農業用ヘリ」や「農薬散布用ドローン」などの最先端の農業機械を見学することができ、デモフライトもしていただき、実際に農薬を散布しているところを見ることができました。実際に就農後ドローンでの防除を考えているのでとても参考になりました。



農薬散布用ドローン



ドローン運搬荷台



防除作業

8月度は農作散布用 ドローンによる防除作業

- 市内の農業者4名が共同でドローンによる防除作業を行っている渡辺共同機械に同行し、作業を手伝わせていただきました。
- 渡辺共同機械では効果的に作業を行うため、ドローン運搬専用の荷台を作成して運搬していました。
- 私は薬剤作りを担当しました。今後免許を取得し運転する際の為に飛行方法や効率的な散布方法を教えていただきました。



根切り作業後



集積作業後



収穫作業風景

9月度はたまねぎの 収穫作業

- 2月、3月に播種作業をしたたまねぎの収穫を手伝わせていただきました。
- たまねぎの収穫作業は根切りをおこない葉を枯らし、掘取りを行い集積し、ハーベスターにより収穫します。



刈り取り作業風景



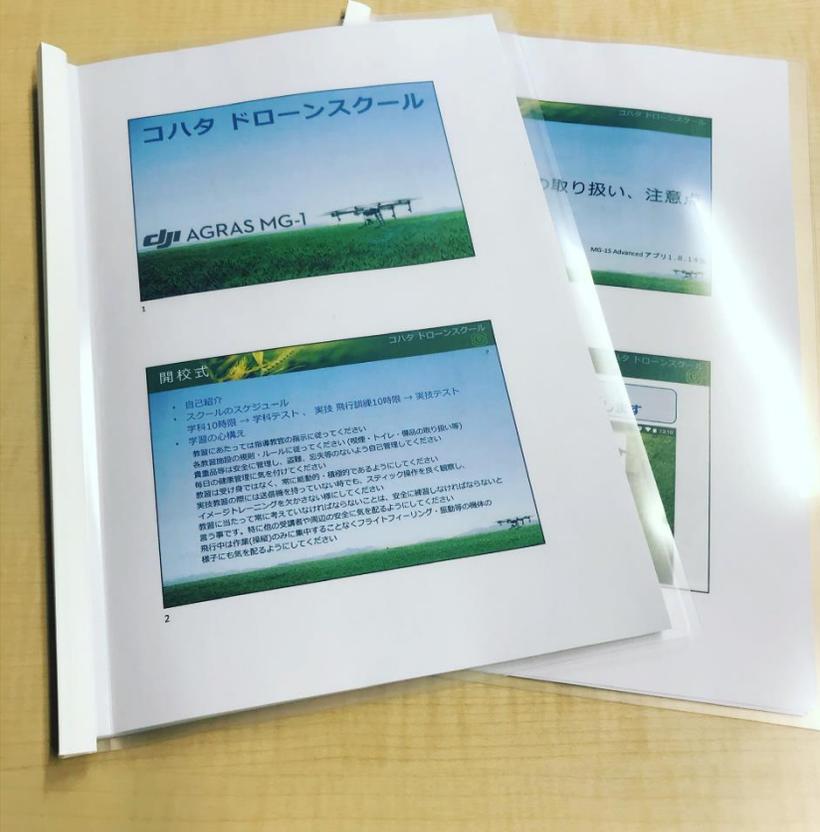
粳詰め込み作業風景



新すながわライスターミナル

10月度は稲の刈り取り作業

- 今年度の稲の刈り取り作業はこれまでにない程ほ場状態が悪くとても刈り取りが困難でした。
- 刈り取った粳は乾燥機にて乾燥させ、専用コンテナに詰め込みし隣の奈井江町にある新すながわライスターミナルに出荷します。



ドローン免許の取得・ 農業大学校にて農業研修

- ・コハタドローンスクールにて、1週間程の講習を受講し学科試験、実技試験を合格しドローン作業免許を取得しました。
- ・農業大学校にて、1年間通して取り組んできた課題「元肥が稲に与える効果について」について結果を取りまとめ発表をしました。
- ・農業大学校にて農業簿記の講習を受けました。農業簿記については1日程度では完全に理解することは難しいので、実践していきながら学んでいかなくてはならないと思いました。



～令和元年度を振り返って～

- 本年度は水稻の基本的な栽培技術や知識を重点的に身に着けることができ、一通り1年間の流れが分かりました。
- 本年度で取り組んだ農業大学校の課題にて自身で実験、比較することで誰も知りえない知識を発見することができたので今後も様々な実験比較をしていこうと考えています。
- 次年度は1人でも営農ができる様、より深く水稻農業について学びたいと思います。